

自己発揮する幼小接続 -カリキュラム・マネジメント-

「つながる子どもの記録とは」

子どもが主体性を発揮し、生き生きと遊び学ぶためには、保育者・教員の幼児・児童理解と、それに基づいた柔軟なカリキュラム・マネジメントが欠かせません。「子どもの育ちや願いをどう見取り、教育計画、実践につなげるのか」「幼児期の学びを小学校側はどのように受けとり、教育課程へつなぐのか」が問われています。そこで重要になるのが、実践の記録ではないでしょうか。繰り返すことのない子どもたちの日々を丁寧に綴り、よりよい明日に関わっていく先生になるために、記録の価値をいっしょに再考してみませんか。

接続講座③では、はじめに福井県幼児教育研究会の2園が架け橋期の幼小連携・接続に関する実践発表を行います。次に、聖心女子大学 教授 河邊 貴子 先生にご講演いただきます。その後、参加者同士のグループトークを行い、幼児教育から小学校教育へ学びをつなぐカリキュラムについて考え、発表交流する場とします。

日時 令和6年8月7日(水) 13:30~16:30 13:00受付開始

会場 生活学習館多目的ホール(福井県福井市下六条町14-1)

対象 小学校・保育所・幼稚園・認定こども園・教育委員会・市町保育担当課等の先生方

日程 13:00~13:30 受付
13:30~13:40 開会、本日の講座について
13:40~14:20 県幼児教育研究会 研究発表
発表園：聖ルカ幼稚園(小浜市)、成器南幼稚園(勝山市)
14:20~14:30 質疑応答
14:30~14:40 休憩
14:40~15:50 講演「子どもの遊びをいかに理解し、指導を計画していくか」
講師：聖心女子大学 教授 河邊 貴子 氏
15:50~16:25 グループ協議「つながる子どもの記録とは」
16:25~16:30 閉会、アンケート

持ち物 「学びをつなぐ希望のバトンカリキュラム」(平成31年3月改訂版)

河邊 貴子 先生のプロフィール

【現職】 聖心女子大学現代教養学部 教育学科 教授

【専門分野】 子ども学 教育学 遊び援助論 保育記録論

【著書】 『遊びが育つ保育 ごっこ遊びを通して考える』(フレーベル館 2020)

『遊びを中心とした保育 保育記録から読み解く「援助」と「展開」改訂第2版』

『幼児教育・保育カリキュラム論』(東京書籍 2019) (萌文書林 2020)

『目指せ、保育記録の達人!』(フレーベル館 2016) など多数